別紙様式第２(一)

医薬品副作用・感染症症例票

識別番号	C01-1290	2001年5月28日

区分	副作用	３０日	登録番号	C00-4768	2001年3月12日	情報入手日	2001年1月31日	同一症例番号		年 月 日	死・感・重未・先・癌・改・OTC

患者略名 S.M.	男性	3 歳	入院・外来: 外来	妊娠:	医薬品副作用歴: 無	主な既往歴・患者の体質等: 有	(厚生労働省処理欄)
			医療機関所在地: 埼玉県	職業: なし			

販売名（企業名）	一般名	S・O	使用方法 経路	一日量	開始	終了	使用理由 原疾患には下線 合併症には( )	副作用・感染症名	熱性痙攣
シンメトレル（日本チバガイギー）	塩酸アマンタジン	S	PO	0.45g（力価45mg）	1999/1/28	1999/1/28		年月日	副作用・感染症の発現状況、症状及び処置等の経過

年月日	副作用・感染症の発現状況、症状及び処置等の経過
1999/1/28	夕方より発熱（39℃）があり、当院受診。身体所見に特別なものはなくインフルエンザと診断。シンメトレル細粒を3日分処方した。夜に1回分シンメトレルを服用。その後、けいれん発現１－２分間。A病院を受診し、熱性けいれんと診断される。けいれんはすぐ治まり、意識も回復したため、特に処置されず帰宅した。
1999/1/29	39℃の高熱が続いた。シンメトレルは１回服用しただけで、その後は中止した。
1999/1/30	36.0～37.0℃に解熱した。
1999/2/1	37.8℃と再び発熱。
1999/2/2	39.3℃となり、当院を再受診。右鼓膜の充血（+）、咽頭充血（+）、扁桃腫大を認め、急性中耳炎、急性気管支炎と診断。 ①ゼスランシロップ（メキタジン） 5ml、メプチンシロップ（塩酸プロカテロール） 6ml、ムコダインシロップ（カルボシステイン） 7mlを、各分2x4日分 ②パセトシン（アモキシシリン） 4.5g 分3ｘ4日分 を処方した。その後来院していない。

その他の治療: （その他（なし））	再投与: 無	転帰: 回（1999年1月28日）

(A200101044-004) 安全性情報部 [redacted] 03-3797-8698